

JJA横浜では、農産物の普及や地域貢献活動、地産地消の推進などの目的でさまざまな料理教室を開催しています。本学児童学科と連携し、料理教室の参加が難しい乳幼児期のお子さんをもつお母さんたちが、安心して料理が覚えられるよう工夫した保育付き料理教室を開催しています。平成二十五年から始まつた、この連携は、今年度で三年目になります。料理教室の参加者は初めての方も多くいますが、毎年楽しみに繰り返し参加するリピーターもいて、子どもからも「りょうりきょうしついく」と、ここに来ることを楽しみにしている姿が見られるようになりました。

実施に向けて、まずは、昨年までの参加者のアンケートを分析し、さらに実際の実施場面を振り返つて、安全面や子どもたちの発達に配慮した保育内容の見直しを行いました。参加者アンケートからは、「保育を担当する人のかわりで安心して料理教室に参加できた」などの声を多くいただき、親と子どもどちらにとつても、安心して無理なく参加していただけるような場づくりを心掛けました。

三年間で培った信頼とスキル



プロジェクト概要

●テーマ

子育て中のお父さん、お母さんを対象とした料理教室での保育方法を企画、運営する。

●パートナー

横浜農業協同組合(横浜市)

●担当教員

田尻さやか 助教

(現代生活学部児童学科)

●実施期間

平成25年5月～平成28年3月

安心して学ぶ場の提供

保育付き料理教室は、JJA横浜の施設市内三か所、年間六回にわたり実施しました。清潔に整えられたキッチンと隣り合った広いスペースを利用して、「JJA横浜たすけ愛の会」のみなさんと本学学生、教員が〇歳児から四歳児へ一回あたり十人程度)までの子どもたちの保育を担当しました。参加されたお母さんたちからは、「料理の仕方だけでなく、日々の生活の中で使えるちょうどした遊びのヒントを得られた」などの声もあり、家庭とは違った場で親も子も体験・学びの広がりを実感していることがうかがえます。

子育て中のお母さんと その子どもを対象とした 保育付き料理教室プロジェクト

